

施工手順書

施工の前に必ずお読みください

次世代型バルブボックスー小口径

VDR-21タイプ

注意

ふたのがたつき・飛散事故防止のために

道路開放前には、ふたが確実に閉まっていることを確認してください。

HINODE

目次

施工の前に

はじめに	1
各部の名称	2
施工備品	6
施工上のご注意	8

施工手順

施工手順一覧	11
基礎面の施工	12
バルブボックスの設置	13
ふたの取り付け	16
埋め戻し・道路開放	18

情報プレートの取り付け

取り付け位置・使用工具	20
情報プレートの取り付け方法	21

製品の仕様

荷重仕様・寸法	25
質量	26

はじめに

安全上のご注意

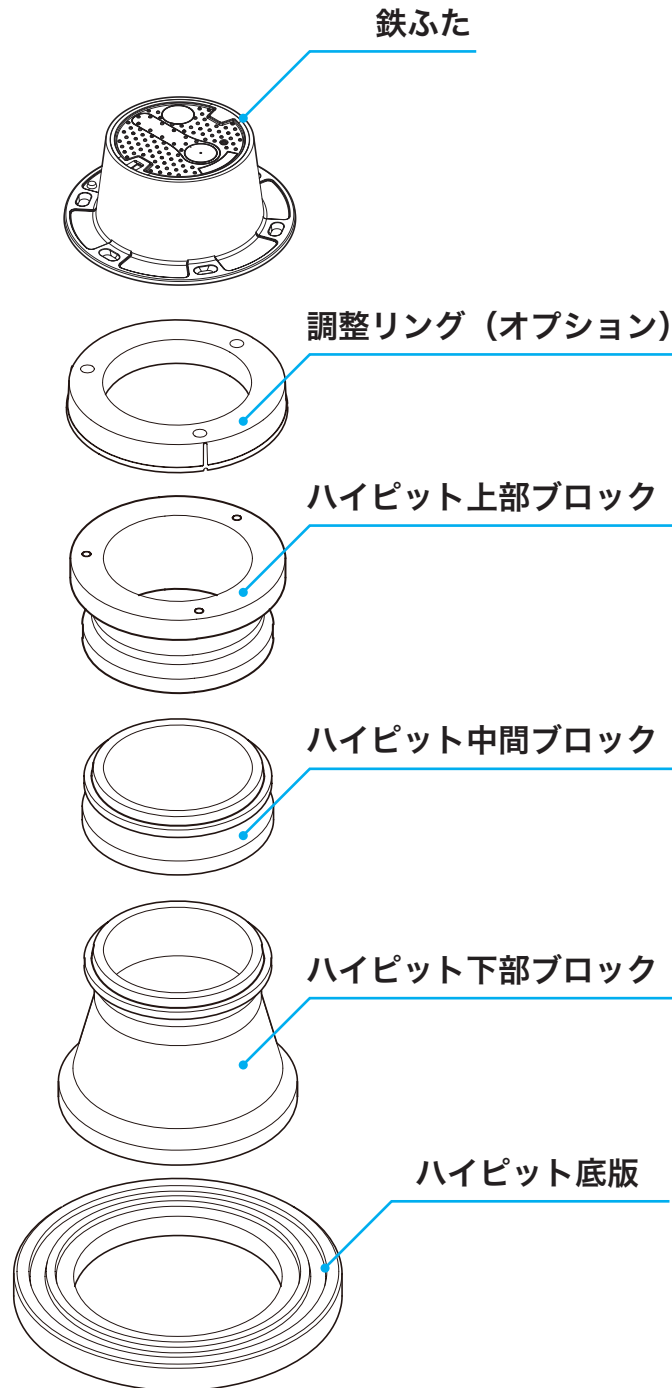
この施工手順書は「次世代型バルブボックスー小口径 VDR-21 タイプ」の施工方法について必要事項を説明しています。施工の前に必ずお読みいただき、また、いつでも確認できる場所に保管してください。

安全上の表示の意味

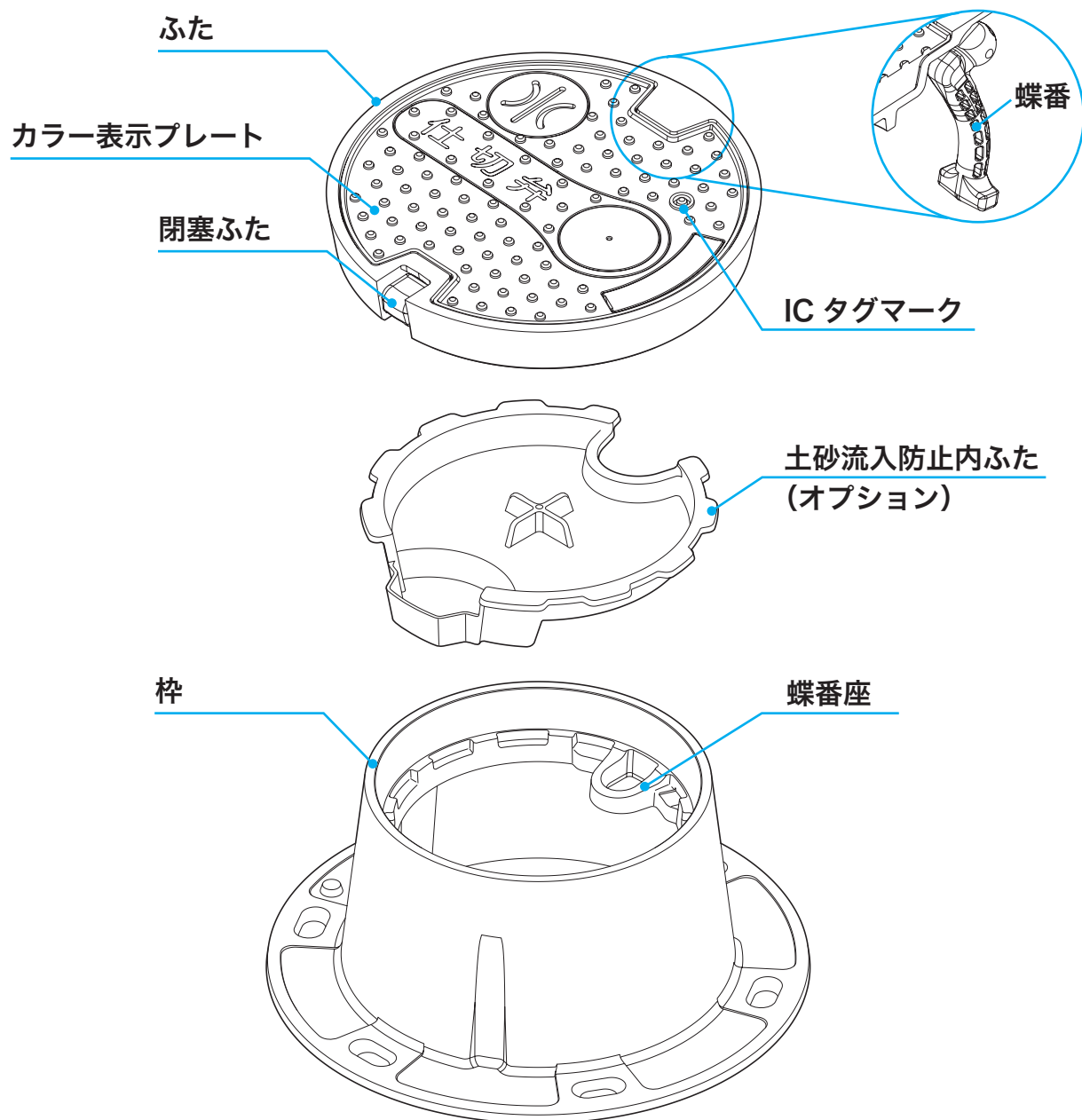
 警告	正しく取り扱わなかった場合に、人が死亡する、または重傷を負う恐れがある事項です。
 注意	正しく取り扱わなかった場合に、人が軽傷を負う、または物的損害が生じる恐れがある事項です。
 お願い	本製品の性能を保持するために、必ずお守りいただきたい事項です。

- ・記載されているイラストは、仕様の変更などにより、実際の製品とは異なる場合があります。
- ・記載内容に関してご不明な点がございましたら、弊社営業所までお問い合わせください。
- ・安全にご使用いただくために、設置後「次世代型バルブボックスー小口径 VDR-21 タイプ」の点検・整備は必ず行ってください。
- ・「次世代型バルブボックスー小口径 VDR-21 タイプ」の設置・管理にあたっては、道路法、道路交通法、道路構造令、労働安全衛生法、騒音規制法などの関係法令を遵守し、安全には十分注意してください。

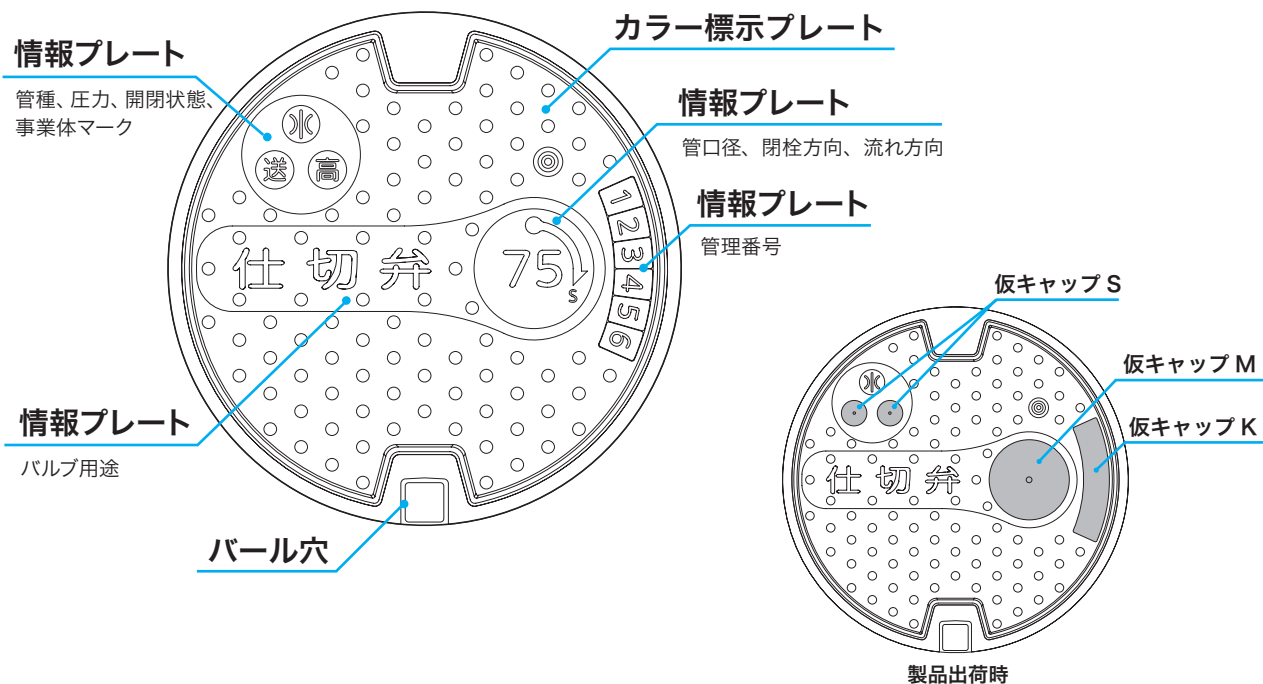
各部の名称



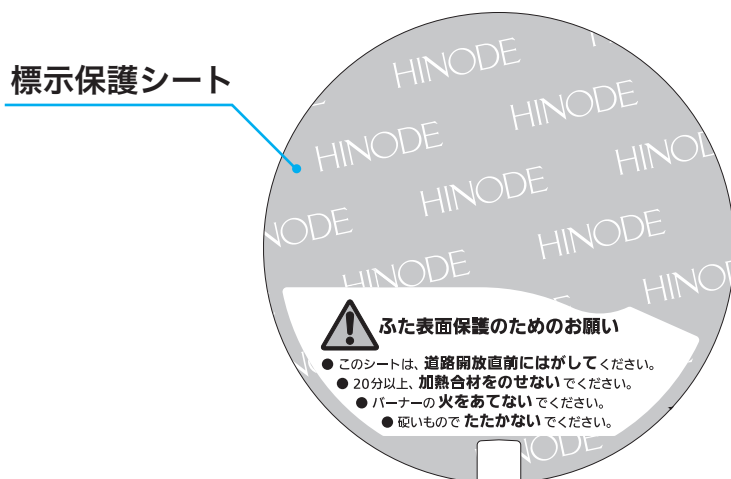
- ・ 鉄ふた：P3 をご参照ください。
- ・ 調整リング：高さ調整や傾斜調整のために使用する樹脂製のリングです。（バリエーションは P5 参照）
- ・ ハイピット上部ブロック：鉄ふたと連結する最上部のブロックです。
- ・ ハイピット中間ブロック：高さ調整用のブロックです。
- ・ ハイピット下部ブロック：ハイピット底版の上に設置するブロックです。
- ・ ハイピット底版：基礎面に設置する最下部のブロックです。



- ・ ふた：バルブボックスを保護するためのふたです。
- ・ 枠：ふたを支持する枠です。(底面に突起がある、ストッパー付の枠をご使用ください)
- ・ 閉塞ふた：ボール穴からの土砂などの侵入を防止するための部品です。
- ・ 蝶番：ふたと枠を連結する部品です。(ふたの裏側に取り付けられています)
- ・ 蝶番座：蝶番を連結する部分です。(枠に設けられています)
- ・ IC タグマーク：IC タグが内蔵されている場所を示すマークです。
- ・ 土砂流入防止内ふた：土砂がバルブボックス内に流入することを防止する内ふたです。



- ・カラー標示プレート：ふた表面に取り付けられた樹脂製のプレートです。
- ・情報プレート：管種や管口径、管理番号などを表示する樹脂製のプレートです。
※製品出荷時には仮キャップ S、M、K（黒色）が取り付けられています。仮キャップの取り外し方法および情報プレートの取り付け方法については、P20 の「情報プレートの取り付け方法」を参照してください。
- ・バルブ穴：ふたを開放する際に専用バルブを差し込む穴です。



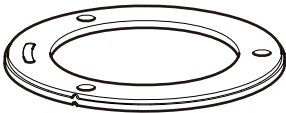
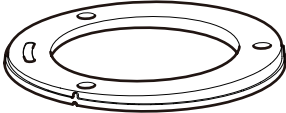
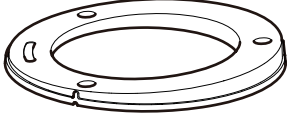
- ・標示保護シート：製品の保管～道路開放前までの期間に、ふたの標示面の汚れを防止するためのシートです。（出荷時にふた表面に貼られています。）

お願い

- ・標示保護シートは、道路開放の直前にはがしてください。

標示保護シートは、製品の保管～道路開放直前までの期間に、ふたの標示面の汚れを防止するものであり、車両通行を考慮した材料ではありません。
道路開放後に標示保護シートを放置した場合、ふたの標示面の視認性が低下したり、標示面が汚れたりする恐れがあります。

調整リング（オプション）

		フラットリング (高さ調整用)	テーパリング (傾斜調整用)	
			3%	5%
調整高さ	10mm	 VDR-25-10KP0	 VDR-25-10KP3	 VDR-25-10KP5
	30mm	 VDR-25-30KP0	 VDR-25-30KP3	 VDR-25-30KP5
	50mm	 VDR-25-50KP0		

お願い

- ・調整リングは、投げたり落としたり、転がしたりしないでください。
衝撃により、割れたり欠けたりする恐れがあります。

施工備品

ニューハイプライマー（250ml 入）

ハイピットの各ブロックを接合する目地材（ニューハイシール）を塗布するための下地処理剤です。



⚠ 注意

- ・ 火気厳禁です。（第4類危険物 第1種石油類）
ニューハイプライマーは引火性がありますので、熱源や火花、炎などから隔離してください。
- ・ 皮膚に付着しないように保護手袋を着用してください。
長時間皮膚に付着するとかぶれることがあります。皮膚に付着した場合は石けんでよく洗い落としてください。
- ・ 作業は通気のよい場所で行ってください。
必要に応じて局所排気装置を設置してください。
- ・ 保管および使用にあたっては、ラベルに記載している使用方法や注意事項を必ずお読みください。

お願い

- ・ 容器は密閉して冷暗所に保管し、使用期限内に使用してください。
高温になった場合、キャップを外す際に圧力で中身が飛び散る恐れがあります。
使用期限は製造日から6カ月です。（製造日は容器の底のシールに記載しています）
表示例：006041（2010年6月4日製造）※最初の5桁の数字が製造年月日を示しています。
- ・ ニューハイシールを塗布する際には、必ずニューハイプライマーで下地処理を行ってください。
ニューハイプライマーを使用しなかった場合、接合不良が発生し、ハイピットが破損する恐れがあります。

ニューハイシール（320ml 入）

ハイピットの各ブロックを接合する目地材です。



⚠ 注意

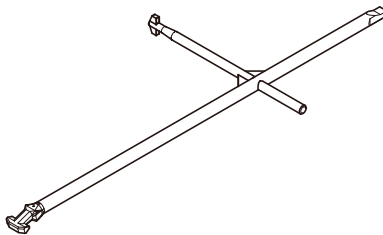
- ・ 皮膚に付着しないように保護手袋を着用してください。
長時間皮膚に付着するとかぶれることがあります。皮膚に付着した場合は石けんでよく洗い落としてください。
- ・ 保管および使用にあたっては、ラベルに記載している使用方法や注意事項を必ずお読みください。

お願い

- ・ ニューハイシールは湿気硬化性がありますので、冷暗所に保管し、使用期限内に使用してください。
高温多湿になった場合、ニューハイシールが硬化する恐れがあります。
使用期限は製造日から6カ月です。（製造日は容器の底のシールに記載しています）
表示例：LOT.NO.006041（2010年6月4日製造）※最初の5桁の数字が製造年月日を示しています。
- ・ 開封後は、ガムテープなどで密閉して湿気の少ない冷暗所に保管し、早めに使用してください。

専用パール

ふたを開放するために使用します。

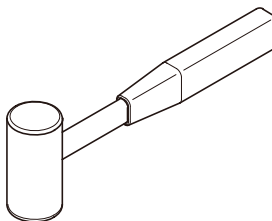


お願い

- ・ ふたを開放する際には、必ず専用パールを使用してください。
専用パール以外の工具でふたを開放した場合、製品の機能を損なう恐れがあります。

プラスチックハンマー

ふたを枠に収納した後、確実に食い込ませるために使用します。



お願い

- ・ プラスチックハンマー以外のハンマーでふたをたたかないでください。
金属ハンマーなどを使用すると、ふた表面の樹脂製のプレートを傷付ける恐れがあります。

その他

- ・ 手袋：ふたを取り扱うために使用します。
- ・ 保護手袋：ニューハイシールを取り扱うために使用します。
- ・ コーキングガン：ニューハイシールを塗布するために使用します。
- ・ 水平器：レベル確認を行うために使用します。
- ・ 水糸：路面高さを確認するために使用します。
- ・ ウェス：ふたと枠の勾配面を清掃するために使用します。
- ・ 金べら：ふたと枠の勾配面を清掃するために使用します。
- ・ ワイヤブラシ：ふたと枠の勾配面のさびを除去するために使用します。
- ・ 補修用スプレー：さびを除去した後に塗装するために使用します。
- ・ シンナー：勾配面に付着した軽油などの油分を除去するために使用します。

施工上のご注意

施工全般のご注意

⚠ 警告

- ・ 製品を絶対に改造しないでください。
製品を改造した場合、不測の事態を招き、重大な事故が発生する恐れがあります。

⚠ 注意

- ・ 埋め戻しや舗装の際に、枠に重機などを接触させないでください。
重機などを接触させた場合、枠が変形してふたのがたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。
- ・ ふたの周辺をコンクリートで舗装する場合は、ふたを枠に十分に食い込ませてから行ってください。
ふたを枠に十分に食い込ませずにコンクリートで舗装した場合、枠が変形してふたのがたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。

お願い

- ・ 転圧する際には、ランマーなどがふたや調整リング、ハイピットに直撃しないようにしてください。
ふたがずれたり、傾いたりする恐れがあります。

ふたを取り扱う際のご注意

⚠ 警告

- ・ ふたを枠に取り付ける際には、必ず蝶番を枠の蝶番座に入れてください。
- ・ ふたは、開放しなければならない時以外は、必ず閉めておいてください。
- ・ ふたを取り付ける際には足場を十分に確保し、バルブボックス内に足が落ち込まないようにしてください。
- ・ ふたと枠の間に指を挟まれないようにしてください。
- ・ ふたを枠に取り付けた状態で、ふたと枠のがたつきが発生していない状態にしてください。
がたつきが発生している状態で放置した場合、最悪の場合、車両通行時にふたが飛散する恐れがあります。
がたつきが発生している場合は、ふたを一旦開放してふたと枠の勾配面を清掃し、ふたを閉め直してください。
それでもがたつきが解消されない場合は、弊社営業所にご連絡ください。

⚠ 注意

- ・ ふたを取り扱う際には、必ず手袋を着用してください。
ふたの縁は、機械加工によって鋭角になっています。素手で扱った場合、けがをする恐れがあります。
- ・ ふたを閉める際には、ふたと枠の勾配面を清掃し、土砂などの異物を除去してください。
ふたと枠の勾配面に異物が介在している場合、がたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。
- ・ アスファルトを打設する際には、ふたの表面にガソリン、軽油、灯油などを塗布しないでください。
ふたと枠の勾配面に軽油や灯油などがしみ込み、ふたが食い込まなくなり、ふたががたつき、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。

お願い

- ・ プラスチックハンマー以外のハンマーでふたをたたかないでください。
金属ハンマーなどを使用すると、ふた表面の樹脂製のプレートを傷付ける恐れがあります。

お願い

- ・ふたと枠を投げたり落したり、転がしたりしないでください。
ふたと枠の勾配面に傷が付いて、ふたのがたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。
 - ・ふたを開放する際には、必ず専用バールを使用してください。
専用バール以外の工具でふたを開放した場合、製品の機能を損なう恐れがあります。
 - ・ふたと枠は、転がしたり引きずったりしないでください。
転がしたり引きずったりした場合、さびが発生する恐れがあります。
 - ・ふたと枠の勾配面のさびや油分を除去してください。
さびが発生している場合には、ワイヤーブラシなどでさびを削り取り、専用の補修用スプレーで補修してください。
軽油などの油分が付着した場合は、シンナーなどで拭き取ってください。
 - ・ふた表面の樹脂製のプレートにガスバーナーなどの炎を直接あてたり、アスファルト合材を載せたりしないでください。
ガスバーナーなどの炎を直接あてた場合、樹脂製のプレートが変形する恐れがあります。
アスファルト合材を載せてしまった場合、ふたの上面を強くこすらずに、アスファルト合材をかき出してください。
 - ・情報プレートの取り付け部に入っている仮キャップ（黒色）を取り外し、正しい内容の情報プレートを正しい位置に取り付けてください。
 - ・情報プレートの取り付け部に異物が介在していると、情報プレートの取り付けができないことがありますので、必ず清掃してください。
 - ・一度取り付けられた情報プレートは簡単に取り外しができない構造となっていますので、十分注意して取り付けてください。
- ※ふたの取り扱い方法の詳細については、別途取扱説明書を参照してください。

調整リング・ハイピットを取り扱う際のご注意

お願い

- ・調整リング・ハイピットは、投げたり落したり、転がしたりしないでください。
衝撃により、割れたり欠けたりする恐れがあります。

ニューハイプライマーを取り扱う際のご注意

⚠ 注意

- ・火気厳禁です。（第4類危険物 第1種石油類）
ニューハイプライマーは引火性がありますので、熱源や火花、炎などから隔離してください。
- ・皮膚に付着しないように保護手袋を着用してください。
長時間皮膚に付着するとかぶれることがあります。皮膚に付着した場合は石鹸でよく洗い落としてください。
- ・作業は通気のよい場所で行ってください。
必要に応じて局所排気装置を設置してください。
- ・保管および使用にあたっては、ラベルに記載している使用方法や注意事項を必ずお読みください。

お願い

- ・容器は密閉して冷暗所に保管し、使用期限内に使用してください。
高温になった場合、キャップを外す際に圧力で中身が飛び散る恐れがあります。
使用期限は製造日から6カ月です。（製造日は容器の底のシールに記載しています）
表示例：006041（2010年6月4日製造）※最初の5桁の数字が製造年月日を示しています。
- ・ニューハイシールを塗布する際には、必ずニューハイプライマーで下地処理を行ってください。
ニューハイプライマーを使用しなかった場合、接合不良が発生し、ハイビットが破損する恐れがあります。

ニューハイシールを取り扱う際のご注意

⚠ 注意

- ・皮膚に付着しないように保護手袋を着用してください。
長時間皮膚に付着するとかぶれることがあります。皮膚に付着した場合は石けんでよく洗い落としてください。
- ・保管および使用にあたっては、ラベルに記載している使用方法や注意事項を必ずお読みください。

お願い

- ・ニューハイシールは湿気硬化性がありますので、冷暗所に保管し、使用期限内に使用してください。
高温多湿になった場合、ニューハイシールが硬化する恐れがあります。
使用期限は製造日から6カ月です。（製造日は容器の底のシールに記載しています）
表示例：LOT.NO.006041（2010年6月4日製造）※最初の5桁の数字が製造年月日を示しています。
- ・開封後は、ガムテープなどで密閉して湿気の少ない冷暗所に保管し、早めに使用してください。

施工手順一覧

基礎面の施工 (P12)

①基礎面の施工とレベル出し



バルブボックスの設置 (P13~P15)

①ハイピット底版の設置

②接合面の清掃

③ニューハイプライマーの塗布

④ニューハイシールの盛り付け

⑤ハイピット下部ブロックの設置

⑥目地の仕上げ

⑦調整リングの設置

⑧枠の設置



ふたの取り付け (P16~P17)

①ふたと枠の勾配面およびパール穴部の清掃

②蝶番を蝶番座の位置に合わせる

③蝶番を蝶番座の中に入れる

④ふたを閉める

⑤ふたを枠に食い込ませる

⑥ふたのがたつきの確認

埋め戻し・道路開放 (P18~P19)

①埋め戻し

②舗装

③ふたのがたつきの確認

④道路開放

がたつきがある場合

がたつきがある場合

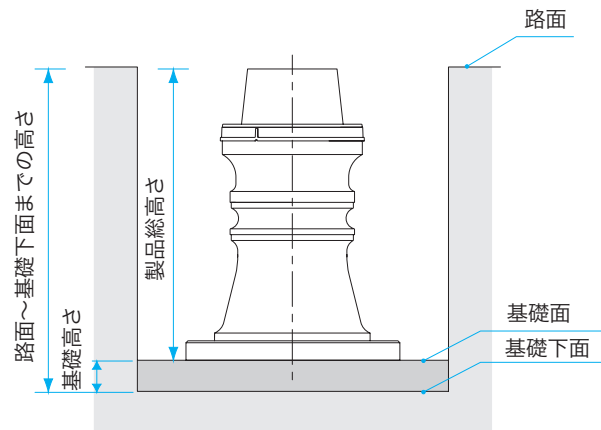
基礎面の施工

①基礎面の施工とレベル出し

路面から基礎下面までの高さ（＝製品総高さ＋基礎高さ）を決定し、栗石やクラッシャーラン、砂を用いて基礎を作ります。

（基礎高さの設定については、各自治体の標準施工方法に準じてください。）

基礎面をランマーなどで十分に締め固めた後、水平器を用いて基礎面のレベル出しを行います。



⚠ 注意

- ・ 基礎面は十分に転圧してください。
転圧が不十分な場合、バルブボックスが沈下する恐れがあります。
- ・ 基礎面は、基礎の上面に砂などを敷いて平滑に仕上げてください。
基礎面に凹凸がある場合、ハイピット底版に集中荷重が加わり、ハイピット底版が破損する恐れがあります。
- ・ 基礎面は、水平器を用いて水平に仕上げてください。
基礎面が水平になっていない場合、バルブボックスが斜めに立ち上がります。

バルブボックスの設置

①ハイピット底版の設置

基礎面にハイピット底版を設置します。

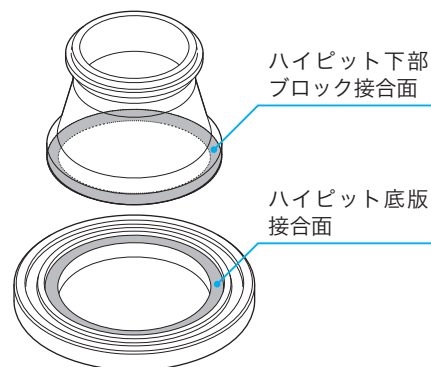


お願い

- ・ハイピットは、投げたり落したり、転がしたりしないでください。
衝撃により、割れたり欠けたりする恐れがあります。

②接合面の清掃

ハイピット底版の接合面とハイピット下部ブロックの接合面（下面）の水分や油分、土砂などをウエスなどで拭き取ってください。



お願い

- ・接合面に水分や油分、土砂などが付着している場合、接合不良が発生し、ハイピットが破損する恐れがあります。

③ニューハイプライマーの塗布

②で清掃した接合面に、ニューハイプライマーを塗布します。

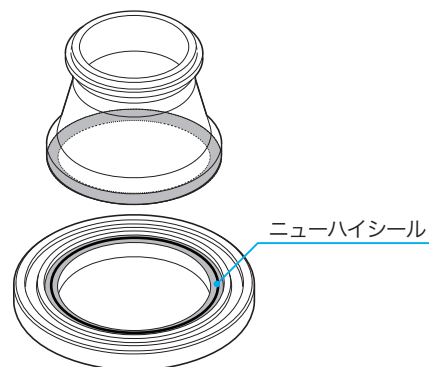
お願い

- ・ハイピットを接合する際には、必ずニューハイプライマーを使用してください。
使用しなかった場合、接合不良が発生し、ハイピットが破損する恐れがあります。

④ニューハイシールの盛り付け

ニューハイシールのカートリッジノズルを先端から約 2cm の位置で切断します。

ニューハイプライマーのべたつきがないことを確認した後、コーキングガンを用いて、ハイピット底版の接合部の中央に、 ϕ 6mm 程度で均一に切れ目がないように盛り付けます。

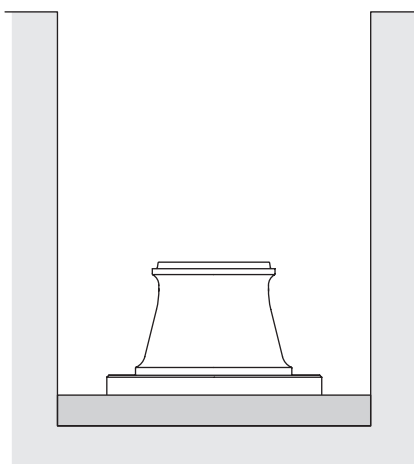


お願い

- ・ハイピットを接合する際には、必ずニューハイシールを使用してください。
使用しなかった場合、接合不良が発生し、ハイピットが破損する恐れがあります。
- ・均一に切れ目がないように盛り付けてください。また、土砂などが付着しないようにしてください。
切れ目があったり土砂が付着している場合、接合不良が発生し、ハイピットが破損する恐れがあります。

⑤ハイピット下部ブロックの設置

ハイピット底版の接合部にニューハイシールを盛り付けた後、ハイピット下部ブロックを載せて上から体重をかけ、ハイピットの内周側にニューハイシールがはみ出るまで圧着します。



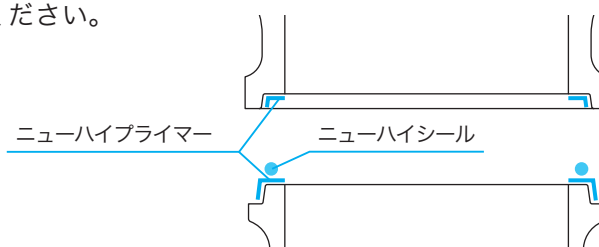
お願い

- ・ハイピット下部ブロックは、ニューハイシールを盛り付けた後、20 分以内に圧着してください。
ニューハイシールを盛り付けた状態で長時間放置した場合、ニューハイシールが硬化して接合不良が発生し、ハイピットが破損する恐れがあります。

⑥目地の仕上げ

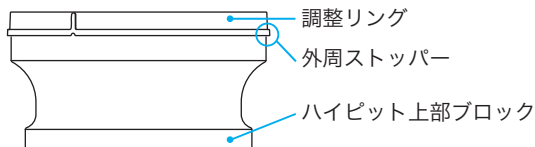
はみ出したニューハイシールをウエスや金べらで除去し、目地の仕上げを行います。

※ハイピット中間ブロックとハイピット上部ブロックの設置は、手順②～手順⑥と同じ要領で行ってください。



⑦調整リングの設置 (調整リングを使用しない場合は手順⑧へ)

ハイピット上部ブロックの上面に調整リングを取り付けます。調整リングの下部の外周ストッパーをハイピット上部ブロックにかん合させます。

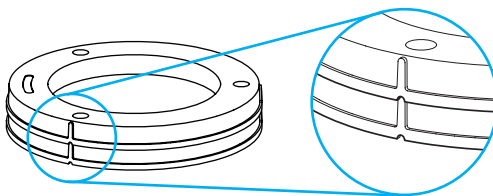


※設置する前に、調整部の高さを確認し、使用する調整リングの種類と数量を把握してください。

お願い

- 調整リングは、投げたり落としたり、転がしたりしないでください。
衝撃により、割れたり欠けたりする恐れがあります。

調整リングを積み重ねる場合は、外周ストッパーに設けている3カ所の凹凸部を合わせて積み重ねます。



お願い

- 外周ストッパーの凹凸部を必ず合わせてください。
外周ストッパーの凹凸部を合わせずに積み重ねた場合、調整リング同士が全面で接触しないため、設置後に調整リングが破損する恐れがあります。
- 高さが違う調整リングを積み重ねる場合は、下側に高さが高い調整リングを設置してください。

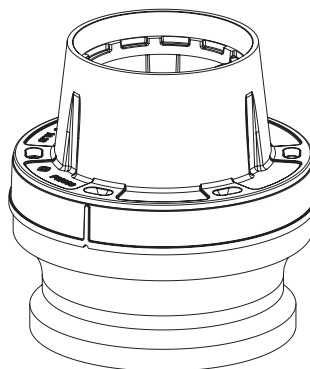
高い方の調整リング
- フラットリング(高さ調整用)とテーパリング(傾斜調整用)を積み重ねる場合は、下側にフラットリングを設置し、上側にテーパリングを設置してください。

テーパリング
フラットリング
- テーパリング(傾斜調整用)を積み重ねる場合は、高さが最小の部分と最大の部分の位置を合わせて設置してください。

高さが最小
高さが最大

⑧枠の設置

調整リングまたはハイピット上部ブロックの上に枠を設置します。

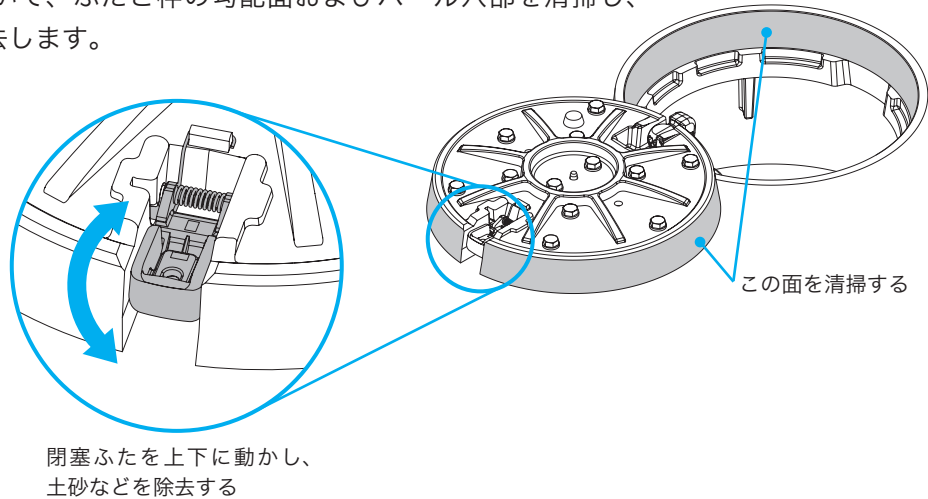


ふたの取り付け

※ふたの取り扱い方法の詳細については、別途取扱説明書を参照してください。

①ふたと枠の勾配面およびボール穴部の清掃

ウエスや金べらを用いて、ふたと枠の勾配面およびボール穴部を清掃し、土砂などの異物を除去します。



⚠ 注意

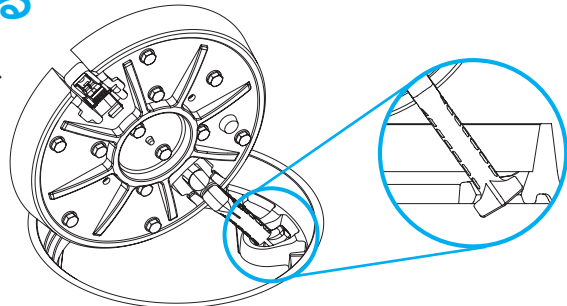
- ・ ふたを取り扱う際には、必ず手袋を着用してください。
ふたの縁は機械加工によって鋭角になっています。素手で扱った場合、けがをする恐れがあります。
- ・ 土砂やモルタル、アスファルト、油分などの異物は確実に除去してください。
ふたと枠の勾配面に異物が介在している場合、がたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。

お願い

- ・ ふたを投げたり落としたり、転がしたりしないでください。
ふたの勾配面に傷が付いて、ふたのがたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。
- ・ ふたと枠の勾配面のさびや油分を除去してください。
さびが発生している場合に、ワイヤーブラシなどでさびを削り取り、専用の補修用スプレーで補修してください。
軽油などの油分が付着した場合は、シンナーなどで拭き取ってください。
- ・ ボール穴に土砂が堆積している場合は、閉塞ふたの機能を十分に発揮できない可能性があるため、ふたを閉める前には必ず土砂などの除去を行ってください。

②蝶番を蝶番座の位置に合わせる

ふたを 90 度ひねった状態で蝶番を斜め下に向け、蝶番座の位置に合わせます。

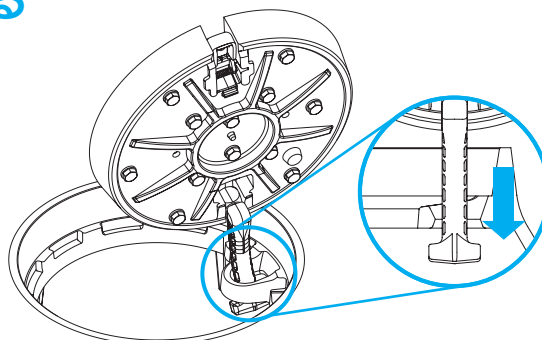


⚠ 警告

- ・ ふたと枠の間に指を挟まないように注意してください。

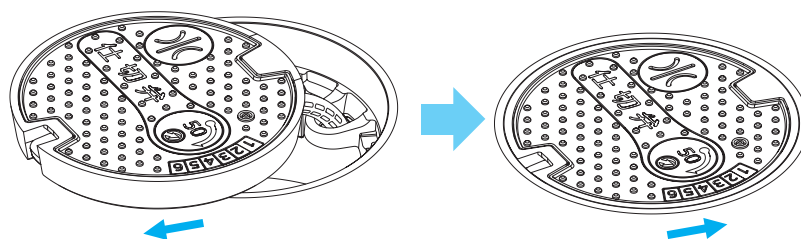
③ 蝶番を蝶番座の中に入れる

蝶番が下を向くようにふたを起こし、蝶番が枠の蝶番座の中に入っていることを確認しながらふたを落とし込みます。



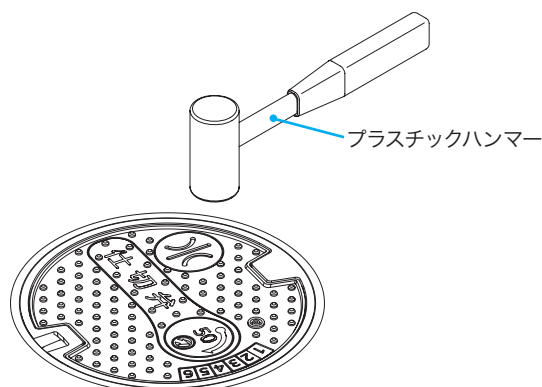
④ ふたを閉める

ふたを一旦手前へ引き、蝶番が枠の蝶番座に確実に装着されていることを確認して、ふたを枠に収めます。



⑤ ふたを枠に食い込ませる

ふたを枠に収めた後、プラスチックハンマーでふたの外周部を数箇所軽くたたき、ふたを枠に対して水平に食い込ませ、ふたのがたつきがないことを確認します。



⚠ 警告

- ・ ふたは、枠に取り付けた状態で、がたつきがない状態にしてください。

ふたのがたつきが発生している状態で放置した場合、最悪の場合、車両通行時にふたが飛散する恐れがあります。ふたのがたつきが発生している場合は、ふたを一旦開放してふたと枠の勾配面を清掃し、ふたを閉め直してください。それでもがたつきが解消されない場合は、弊社営業所にご連絡ください。

⚠ 注意

- ・ プラスチックハンマー以外のハンマーでふたをたたかないでください。

金属ハンマーなどを使用すると、ふた表面の樹脂製のプレートを傷付ける恐れがあります。

埋め戻し・道路開放

①埋め戻し

以下の事項を守って、埋め戻しを行います。

⚠ 注意

- ・埋め戻しや舗装の際に、重機などを柵に接触させないでください。
- ・アスファルトを打設する際に、ふた表面に軽油を塗布しないでください。
ふたや柵の勾配面に軽油がしみ込んで、ふたが食い込まなくなり、ふたのがたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。

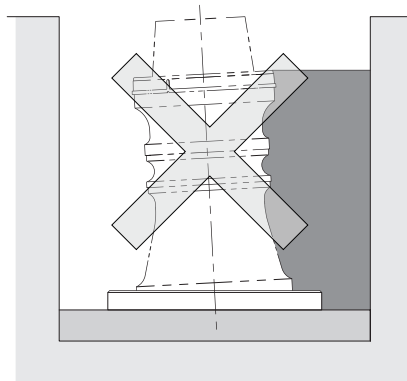
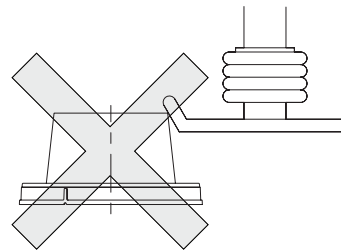
お願い

- ・転圧する際には、ランマーなどがふたや調整リング、ハイピットに直撃しないようにしてください。

ふたがずれたり、傾いたりする恐れがあります。

- ・埋め戻しの際には、調整リングやハイピットの周辺の土圧が均一になるように埋め戻してください。また、調整リングやハイピットに衝撃を与えないようにしてください。

埋め戻しが一方に片寄ったり、衝撃を与えたりした場合、調整リングやハイピットがずれたり、傾いたりする恐れがあります。



②舗装

以下の事項を守って舗装を行います。

⚠ 注意

- ・柵の周辺に舗装の縁切れがないようにしっかりと転圧してください。

柵の周辺の舗装の転圧は弱いため、舗装の縁切れが発生した場合、土圧による固定力が弱くなり、がたつきが発生しやすくなります。

③ふたのがたつきの確認

ふたのがたつきがないことを、プラスチックハンマーで確認します。

⚠ 警告

- ・ ふたを枠に取り付けた状態で、ふたと枠のがたつきが発生していない状態にしてください。
ふたのがたつきが発生している状態で放置した場合、最悪の場合、車両通行時にふたが飛散する恐れがあります。
ふたのがたつきが発生している場合は、ふたを一旦開放してふたと枠の勾配面を清掃し、ふたを閉め直してください。
それでもがたつきが解消されない場合は、弊社営業所にご連絡ください。

④道路開放

ふた表面の標示保護シートをはがし、道路開放してください。

お願い

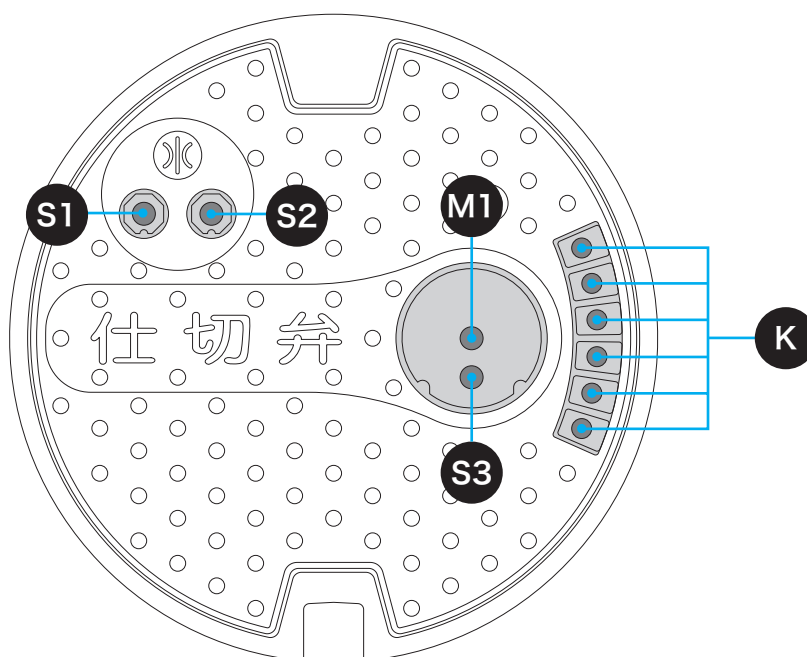
- ・ 標示保護シートは、道路開放の直前にはがしてください。
標示保護シートは、製品の保管～道路開放直前までの期間に、ふたの標示面の汚れを防止するものであり、車両通行を考慮した材料ではありません。
道路開放後に標示保護シートを放置した場合、ふたの標示面の視認性が低下したり、標示面が汚れたりする恐れがあります。

取り付け位置・使用工具

ふたの設置場所ごとに表示する情報（施設分類、管内圧力、口径など）が異なるものにつきましては、出荷時に仮キャップ（黒色）を取り付けていますので、現場で仮キャップ（黒色）を取り外し情報プレートを取り付けてください。

※事業者マークとバルブ用途は出荷時に取り付けています。

■情報プレートの取り付け位置と記号



※事業者の指定により、上図と実製品との情報プレート取り付け位置が一致しない場合があります。
事業者の指定を十分に確認して取り付けを行ってください。

⚠ 注意

- 一度取り付けられた情報プレートは簡単に取り外しできない構造となっています。十分に取り付ける向きに注意して取り付けてください。誤って取り付けた場合は、弊社営業所にお問い合わせください。

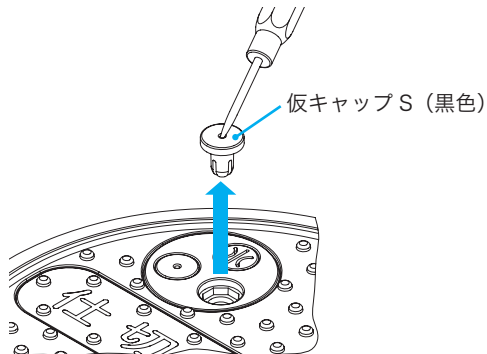
■使用工具

- 先端のとがった工具：仮キャップ（S1、S2、S3、M1）を取り外す際に使用します。
- マイナスドライバー：仮キャップ K を取り外す際に使用します。

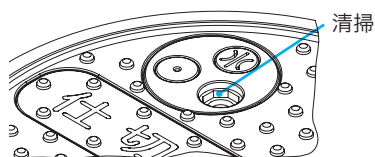
情報プレートの取り付け方法

■ S1 S2 の取り付け方法

- ①先端がとがった工具などを仮キャップ S（黒色）の穴に差し込み、引き上げるように外してください。



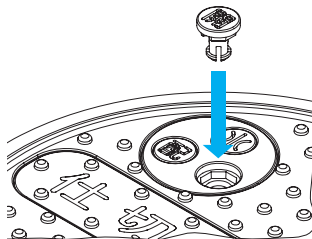
- ②情報プレートの取り付け部を清掃して異物を取り除いてください。



お願い

- ・情報プレートの取り付け部に異物が介在している場合、情報プレートの取り付けができないことがありますので、必ず清掃してください。

- ③情報プレートの取り付け部に情報プレートの軸棒をカチッと音がするまで差し込んでください。

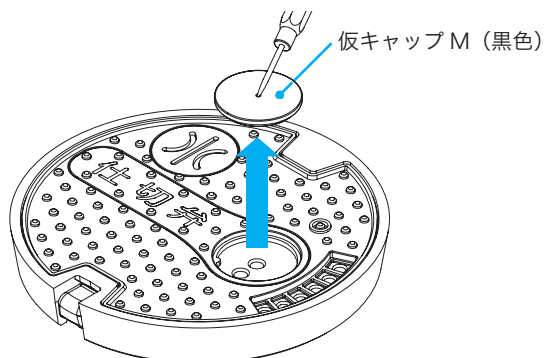


⚠ 注意

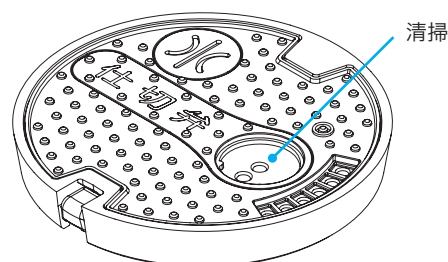
- ・一度取り付けられた情報プレートは簡単に取り外しできない構造となっています。十分に取り付ける向きに注意して取り付けてください。誤って取り付けた場合は、弊社営業所にお問い合わせください。

■ M1 S3 の取り付け方法

- ①先端がとがった工具などを仮キャップM（黒色）の穴に差し込み、引き上げるように取り外してください。



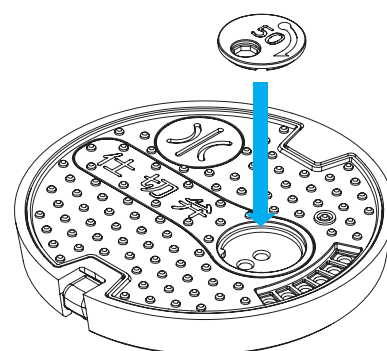
- ②情報プレートの取り付け部を清掃して異物を取り除いてください。



お願い

- ・情報プレートの取り付け部に異物が介在している場合、情報プレートの取り付けができないことがありますので、必ず清掃してください。

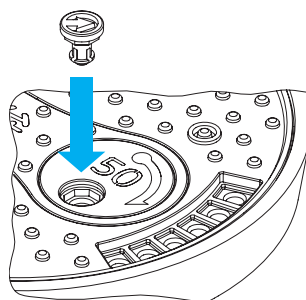
- ③ M1 部分の取り付けを行います。
情報プレート取り付け部に情報プレートの軸棒をカチッと音がするまで差し込んでください。



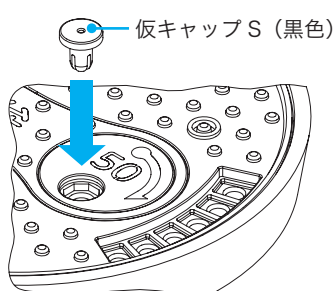
⚠ 注意

- ・一度取り付けられた情報プレートは簡単に取り外しできない構造となっています。十分に取り付ける向きに注意して取り付けてください。誤って取り付けた場合は、弊社営業所にお問い合わせください。

-
- ④ S3 部分の取り付けを行います。(流れ方向の情報プレートを使用する場合のみ)
向きを十分に確認して、情報プレートの取り付け部に情報プレートの軸棒をカチッと音がするまで差し込んでください。

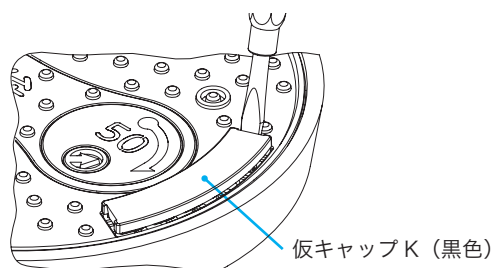


※S3部分の取り付け方向が決まっていない場合は、同封の仮キャップS(黒色)をS3部分に取り付けてください。

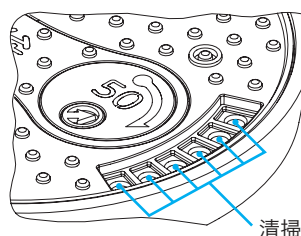


■ K の取り付け方法

- ① マイナスドライバーなどを仮キャップ K（黒色）側面の溝に差し込み、引き上げるように外してください。



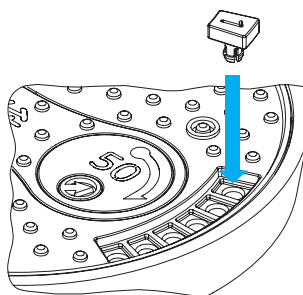
- ② 管理番号の取り付け部を清掃して異物を取り除いてください。



お願い

- ・ 管理番号の取り付け部に異物が介在している場合、管理番号の取り付けができないことがありますので、必ず清掃してください。

- ③ 管理番号の取り付け部に管理番号の軸棒をカチッと音がするまで差し込んでください。同様にすべての取り付け部に管理番号を取り付けてください。



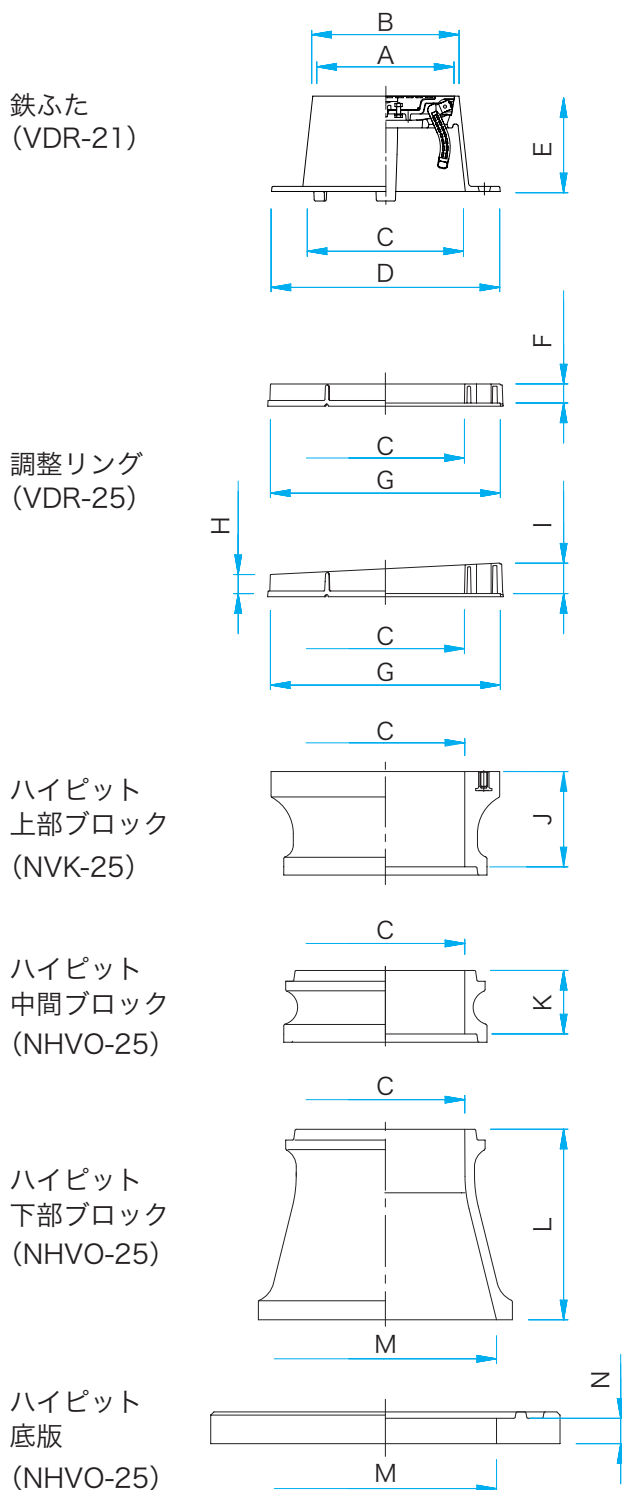
⚠ 注意

- ・ 一度取り付けられた情報プレートは簡単に取り外しできない構造となっています。十分に取り付ける向きに注意して取り付けてください。誤って取り付けた場合は、弊社営業所にお問い合わせください。

荷重仕様・寸法

■荷重仕様：T-25

■寸法



単位：mm

	VDR-21 VDR-25 NVK-25 NHVO-25
A	φ 216
B	φ 230
C	φ 250
D	φ 360
E	150
F	VDR-25-10KP0 : 10 VDR-25-30KP0 : 30 VDR-25-50KP0 : 50
G	φ 362
H	VDR-25-10KP3 : 10 VDR-25-10KP5 : 10 VDR-25-30KP3 : 30 VDR-25-30KP5 : 30
I	VDR-25-10KP3 : 20.8 VDR-25-10KP5 : 28.0 VDR-25-30KP3 : 40.8 VDR-25-30KP5 : 48.0
J	150
K	NHVO-25-100B : 100 NHVO-25-200B : 200 NHVO-25-300B : 300
L	300
M	φ 350
N	40

質量

■質量

製品名／型式		高さ (mm)	参考質量 (kg)	
鉄ふた		VDR-21G-15L(Sツキ)	150	13.05
調整リング		VDR-25-10KP0	10	0.37
		VDR-25-10KP3	10	0.47
		VDR-25-10KP5	10	0.54
		VDR-25-30KP0	30	0.77
		VDR-25-30KP3	30	0.88
		VDR-25-30KP5	30	0.96
		VDR-25-50KP0	50	1.23
ハイピット	上部ブロック	NVK-25-150A(Nツキ)	150	10.7
	中間ブロック	NHVO-25-100B	100	5.0
		NHVO-25-200B	200	7.5
		NHVO-25-300B	300	10.0
	下部ブロック	NHVO-25-300C	300	11.5
	底版	NHVO-25-40S	40	11.0